

令和5年度 鈴鹿高専

青峰寮 広報誌「青峰」



表紙デザイン 寮生 丸田佳奈

校長挨拶



「ChatGPT」

校長 竹茂 求

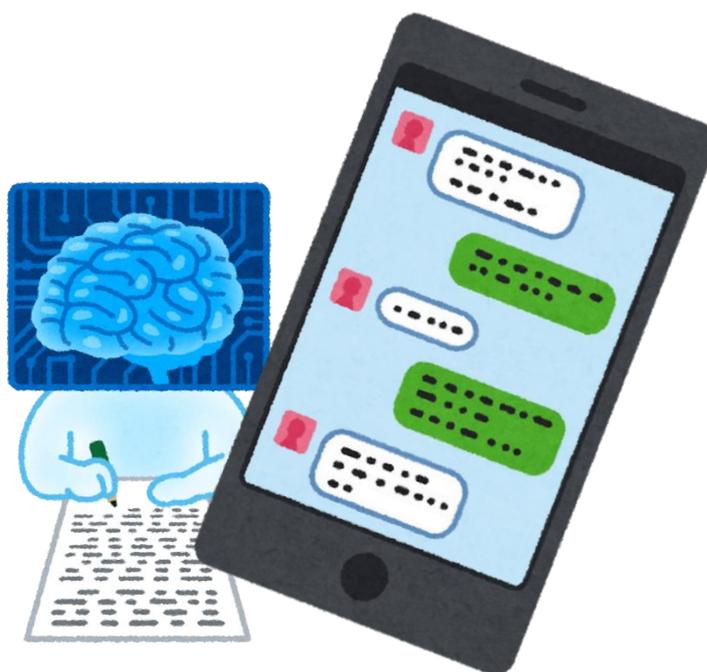
青峰の巻頭言はこれまで3回書かせて頂いたので今回は何を書こうかと少し迷いました。そこで、話題の生成AIならどう書くか試してみました。私はChatGPT (Ver 4) を日常的に使っていますが、英語のチェックが主な使用目的で、とても便利です。以前は数学や物理の調べ物にも対話形式で使っていましたが、内容が少し高度になると殆ど役に立ちませんでした。巷で言われるようにChatGPTのTraining Data Set (言語のパターンを学ぶのに利用するテキスト) はまだまだ不十分と思います。今回はChatGPTの作文力のチェックも兼ねて「高専の寮生活について、校長が書く広報誌の巻頭言を寮生対象に600字程度で書いて」とinputしました。4,5回のチャット(誤った記載の訂正と情報提供)の結果が以下のoutputです。ただし、(削)は私が不要と思い削除した箇所、下線は私が修正した箇所です。

「(削)新(削)学年の始まりに当たり、青峰寮(削)での生活を共に過ごす皆さんへ心からの歓迎を申し上げます。寮生活は、勉学(削)だけでなく、社会人として必要なスキルを育む場(削)でもあります。(削)新入生にとって、寮生活は新しい友情の芽生えや自立への第一歩となります。(削)寮生活を経験してきた学生には、これまでの経験を活かし、新入生を温かく迎える役割があります。ここでは、学年や専攻を超えたコミュニティが形成され、互いに支え合いながら成長することができます。寮では(削)季節ごとのイベントや

文化活動を通じて、学生たちが自主性やリーダーシップを発揮する機会も豊富にあります。これらの活動は、学生生活をより豊かで充実したものにするものでしょう。私たちは、寮生活が皆さんにとって単なる『住まい』ではなく、『共同体』としての価値を持つことを願っています。互いに学び、成長し合うことで、この場所が皆さんの人生における貴重な思い出となることを確信しています。新しい一年に向けて、皆さんが寮生活を通じて得る経験が、学業はもちろんのこと、人間としての成長にも大きく貢献することを期待しています。」

さて、皆さんの感想はどうでしょうか？私の正直な感想は、間違いは無いし伝えるべきことが記載されているけど深みがない、というところです。私はこれまで、色々な賞に輝いた学生の皆さんの文章を読んで感銘を受けましたが、ChatGPT の作文はそれらに遠く及びません。勿論それは input 情報にも原因があるだろうし、今後は生成 AI の能力が急激に進化すると言われていています。ですから適切な利用方法が重要でしょう。そこで鈴鹿高専は令和 6 年度から、鈴鹿高専テクノプラザの協力により地域企業と連携して、生成 AI の基礎的事項と発展的な利用方法について全学的な教育を計画しています。注意すべきことは留意して、適切な利用方法を学んで下さい。

最後に話は全く変わりますが、令和 6 年度に A 寮を改修する予定です。不便をおかけすることもあると思いますが、どうぞ宜しくお願い致します。



寮務主事補 広報担当 挨拶

「ものは言いよう」

教養教育科 講師 熊澤 美弓

皆さんこんにちは。今回も無事に寮の広報誌をお届けできること、嬉しく思います。新型コロナウイルス感染症が5月からインフルエンザと同じ5類に変わり、少しずつ以前の日常を取り戻せるようになってきました。これまで我慢してきたことができるようになった一方で、新型コロナウイルスの流行をきっかけに大きく変わったことを受け入れていく部分も多々あると思います。大事なことは堅固に、変わるべきことは柔軟に、それぞれ対応していきたいものです。

寮も、点呼方式や1人部屋から複数部屋に戻るなど今回のコロナ関係で今年度も色々変化がありました。これまでは他人と距離を取って行動しようという方向から、集団生活で他人と一緒に協力して過ごしていこうという方向になったことで、戸惑ったり、周りとのコミュニケーションに不安を覚えたりという人もいると思います。

私は寮生活をしたことがなく、何のノウハウもないまま一人暮らしを始めましたが、色々わからないことも多く、また、アパート内でのいわゆるご近所トラブルにも何度か遭遇しています。何も無い大草原に1人きりでいるなら、時間も場所も関係なく叫ぼうが踊ろうがどんな振る舞いをしようが誰も困りませんが、集合住宅では周りへの影響を考えなくてはなりません。顔も名前も知らない相手に対して、1人、どうしていいのか困った経験があります。

皆さんも寮という場所で集団生活をしている以上、何気ない行動が周りに思わぬ影響を与えているということを考える必要があります。ただ、寮はみんな同じ高専の学生ということで、何か困ったことも周りに相談しやすいし、話しやすい環境だと思います。きちんと話し合い、伝え合うことで解決していきましょう。その経験は将来に役立つでしょう。

そして、伝え合う時、自分の思いを話す時も、一方的に思ったことをそのまま吐き出すのではなく、少し立ち止まって、言い方を考えてください。履歴書などでも、「自分は消極的な性格で…」とネガティブな言い方をするより、「慎重な性格」や「周りをよく見て行動する」とポジティブな言い方をすることが推奨されるように、言い方ひとつで受け取り方は変わってきます。寮という、生まれも育ちも考え方も違う人たちが集まった場所、受け取り方も多種多様なので、全体に話す時は「みんなが正しく受け止める言い方」を考えることが必要になります。なかなか難しいことですが、意識して練習しておけば、社会に出た時はそれがとても使える武器になります。

「丸い卵も切りようで四角、物も言いようで角が立つ」とはことわざや都々逸で知られる言葉ですが、若い時に集団で色々な考え方の人と生活を共にするという貴重な機会のうちに、自分なりの切りよう、言いようを生み出していけると良いですね。

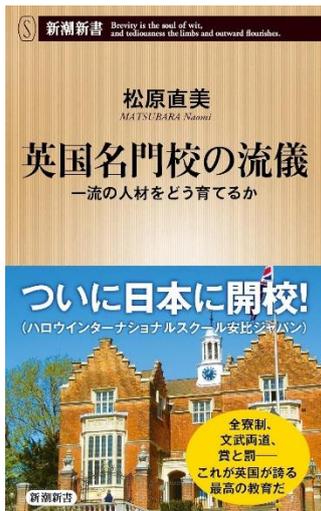
新任 寮務主事 挨拶

「年間の学費が1,000万円のイギリスのパブリックスクールは寮生活をさせながら超一流の人材を輩出する名門校」

教養教育科 教授 船越 一彦

前任の林先生から寮務主事を引き継いだ教養教育科の船越です。林先生はコロナ禍という前例のない大変な中で寮運営に尽力いただきました。それを引き継いで、まず私が取り組んだことは、寮全体の運営をコロナ前に戻すことでした。食堂の間仕切りを取り、部屋同士の往来や談話室の使用を許可し、後期からは一人部屋生活から合同部屋に戻しました。集団生活の経験がない今の学生たちがどう感じているかが気になっていたのも、寮役員や寮母さんからの意見も聞き、現状把握しながら運営を進めてきましたが、元へ戻すには思っていた以上に問題が多かったです。

ここで原点に戻って、寮生活を経験することがどういった面で人間的な成長につながるかということを考えてみたいと思います。鈴鹿高専も開校当初は1.2年生全寮制をとり入れて全学生数1,000人のうち600人が寮生という時代もありましたが、時代の流れとともに任意寮になり、現在に至っています。私が20代の駆け出しのころ、高専の寮生活は優秀な人材を育てるためイギリスのパブリックスクールを元に取り入れられた制度だと当時の年配の先生から聞かされていました。今回、学生の皆さんにはこのパブリックスクールと呼ばれる学校がどのようなものかを松原直美先生の書籍をもとに簡単に紹介したいと思います。



(以下書籍から抜粋)

イギリスにはパブリック・スクールと呼ばれる私立中高一貫校がある。それらのうち数百年の歴史を紡ぐとくに有名な学校群には世界中から生徒が集まり、社会的に影響を持つ卒業生を輩出している。国内外の政界をはじめ、法曹界、経済界、軍隊、芸術界、芸能界、スポーツ界、医学界、航空宇宙分野まで、あらゆる分野におけるパブリック・スクール出身者の活躍は論をまたない。

なぜこの学校群の卒業生は社会で活躍できるのか。リーダーの育成に必要なものはなにか。

ロンドン郊外のハーロウ校 (Harrow School) という男子全寮制パブリック・スクールにて私は2014年から2018年まで、選択科目である日本語の教員として働いていた。教師として過ごした4年間は毎日が目まぐるしく、新鮮な驚きの連続だった。なぜなら同校で行われている教育は日本のそれとは著しく違うものだったからであ

る。

(中 略)

自分の実力や業績がはっきり評価される中で育っている生徒たちには、打たれ強い精神力が育まれている。どの生徒もつねに最高の結果を出せるわけではないし、何らかの分野で弱みがある。その事実をはっきり認識できることはその生徒にとって自分を客観的に見つめられるという強みになると思う。明確な表彰制度や習熟度別クラス制度のもとで私にとって印象深かったことは、優秀な生徒ほど謙虚であるということだった。

(後 略)

この紹介文からもわかるように、ただ単に寮で集団生活しているだけではそう簡単に成長が見込まれるわけではありません。保護者の元から離れたときに、自己責任において自分を成長させていくことと、それに見合う教育環境があることで超一流の人材を育てることができます。パブリックスクールに興味を持った人は自分でもその内容を調べてみてください。いろいろな考え方を学ぶことは皆さんを成長させていくことにつながります。興味深いことが書いてありますよ。

本校も海外留学を進めています。鈴鹿高専含め日本の学校の学力レベルは高いですが、一方で知識がついても自分に自信がなく自己肯定感の低い10代が多くなってきています。今の日本の教育に足りないものが何なのかをこの本は教えてくれます。

本校も世界に羽ばたく人材を育成する学校として、寮という生活環境を協力して整えていきましょう。生活次第で未来を変えることができますから！



新任 寮務主事補 挨拶

「寮生活について」

教養教育科 助教 菊池 翔太

寮生の皆様、こんにちは。教養教育科の菊池翔太と申します。昨年度の広報誌にも寄稿させていただきましたが、今年度も寄稿させていただくことになりました。昨年度は新任の立場として書き綴りましたが、今年度は担当させていただいた寮務主事補の立場と主観の二つの観点から、つらつらと書き綴ってみようと思います。

寮務主事補の立場から寮生活を見たときに気になったことは、居室の使い方でした。今年度の後期から集団部屋になるに伴い、個室の時とは違った考えのもと生活を送る必要がありました。実際、同じ学校のコミュニティに属するとは言え、異なる価値観を持つ人々と同じ部屋で過ごすこととなりますので、そのような意識は必要になります。しかし現実には、集団部屋にも関わらず、自分の個室のように使用している方々が一定数いらっしゃいます。もちろん、指摘されて初めて理解することができるケースもあると思います。その場合は、その後に意識して改善すれば良いだけですので、自分としては何も問題ないと考えています。一方で、指摘されても意識的に改善できていない方々がいるのも現実です。寮生の皆様は、様々な理由で寮生活を送られていると思いますので、向き不向きについて言及するのは意味が無いと考えています。なので、寮生活に向いていないと感じている方も寮のコミュニティに属しているのであれば、少なからず守らなければいけないルールがあることを頭の片隅にでも置いて欲しいです。どうしても納得できない件がございましたら、一人で抱え込むのではなく、是非誰かに相談して欲しいと思います。

ここからは率直に感じたことを述べていこうと思います。去年の広報誌に寄稿させていただいた文章の中にもありますが、私はこれまで、寮生活のような集団生活を送ったことがございません。なので、寮務主事補の立場で寮生活について知見を増やせたことは、自分にとって非常に新鮮なものでした。一方で、ある種の窮屈さなどからは逃げられないのであろうと感じ、自分は寮生活を送るのが難しいのだらうと感じました。もちろん、遠方に住んでいる方々にとっては、登校時間などの条件と天秤にかけた場合、圧倒的に小さなものになるでしょう。自分も同じ立場であれば、寮生活を優先するだらうとも思います。そのような場合、日々の生活で小さなストレスが積み重なっていくことになるのが気がかりです。どうしても相容れないものは存在しますので、(迷惑にならない範囲で)気分転換の手段をたくさん用意できると良いですね。

色々書き綴ってみました、「やはり一人暮らしも悪くないよね」という一言で文章を締めくりたいと思います。

「寮生の皆様、こんにちは」

材料工学科 講師 幸後 健

令和5年度より寮務主事補になりました、材料工学科の幸後です。鈴鹿高専には平成23年4月から着任しており、それから11年になります。着任当時、新任のご挨拶として青峰に寄稿させて頂いておりますが、ご存じでない方も多いと思いますのでこの場をお借りして改めてよろしくお願いさせて頂ければと思います。

私自身、北九州高専出身ということで高専自体とのかかわりは非常に長いです。学生当時は自宅からの通学であったので学寮自体と直接関わりはありませんでしたが、友人の寮生から寮の話は聞いておりました。当時はまだ時代がある意味おおらかでもあり、また学校の違いがあると思うのですがたまたま寮に遊びに行っておりました（※鈴鹿高専の現行ルールでは通学生が寮に遊びに行くと処罰の対象となりますので要注意）。その時伺った話では、当時はまだ理不尽なルールや規則などがあり、特に下級生にはなかなか厳しい寮生活だったみたいです。一方でそのような理不尽なものを無くしていく、そんな過渡期であった記憶しております。

寮生活は幾つかの特徴があると思いますが、私個人の意見としては一番の特徴は自立と自律を同時に行う「半共同生活」ではないかと思います。自室の整理整頓はもちろん、起床や就寝、洗濯、休日の食事などを含めて自らスケジュールを立てて行う事が多くあると思います。そして洗濯や風呂などの共用部分については、使用の際に占有したりせず他の方の事を考えて使用しているかと思います。自分の事だけではなくお互いの事を考えながら共に生活していくことは、社交性やコミュニケーション能力を持った社会人として世の中で働く際に非常に大事になります。また、この生活スタイルは当然ストレスにもなるかと思います。大事なはいかにストレスを溜め込まずに発散しながら生活していくかだと思います。世の中を生きていくために必要な処世術を養う場として寮生活は非常に良い経験になると思いますので、どうか多くのことを学んでください。

そのうえで、寮生の皆さんには学寮生活を楽しく過ごして頂ければと思います。コロナ禍や時代の移り変わりもあり、なかなか皆さんが楽しむことが出来るイベントやレクリエーション活動も難しくなってきたかと思います。上記のストレスを溜め込まずに発散しながら生活していくかという事にもつながるかと思いますが、ぜひ色々な楽しいことを企画し満喫してください。もちろん、学内で出来るイベントにも限りがあると思いますので、その時は学外施設などを使ったイベント企画を行うのも良いと思います。できる限りの範囲で皆さんの学寮生活を応援させて頂きたいと思いますので、何かありましたら遠慮なくご相談ください。

寮事務より

「寮事務室から」

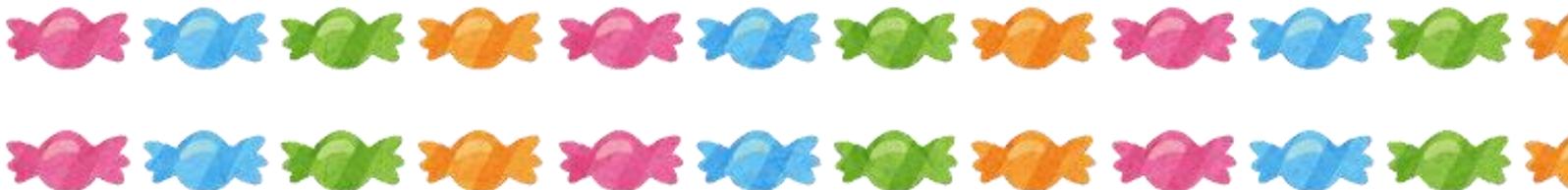
学生課 課長補佐 倉田 悦行

令和5年4月から学生課課長補佐（兼）寮務係長となりました倉田悦行と申します。普段は学生課事務室の窓際に半日、寮事務室に半日ずつ勤務しています。これまでは、学生さんとかかわりの少ない部署での勤務が多く、接点が少なかったので、顔を知らない方も多いのではないかと思います。

私も30年前は今の皆さんと同じくらいの年代でした。当時は「エンジニアになる！」という夢があり、鈴鹿高専へ進学を希望していました。残念ながら入学することができず、それから紆余曲折があって別の道に進むことになりました。国家公務員となり農林水産省の地方出先機関での勤務を経て、平成21年からは鈴鹿高専で勤務しています。中学生当時とは夢とは別の形ではありますが、鈴鹿高専でお世話になることになり、不思議な縁を感じます。

私は学生時代に学寮で生活したことはなく、結婚するまで実家暮らしでしたので、一人暮らしさえ経験がありません。寮生の皆さんは、中学卒業後に親元を離れての寮での生活は、大変なこともあるかと思います。今までやったことのない洗濯や掃除を自分でやらなければならないし、学寮には当然ですが規則があり、不自由だと感じることもあるでしょう。ただ学寮での規則正しい生活を通じて、共同生活の中で自己確立、自立の精神を培ったことは、将来的に社会に出てから、最も役立つことではないかと思います。また一緒に生活した寮生仲間とも一生付き合い合えるほど親しくなれるのではないのでしょうか。今しかできない、皆さんにしかできない貴重な経験を存分に楽しんでください。

以前に比べて、寮事務所に来る学生が少なくなってきたと聞きました。届の提出や荷物の受取以外にも、カウンターのお菓子を取りにきて、顔を出してもらえると嬉しいですね。



各寮長 挨拶

「私の4年間の寮生活」

1寮 前期寮長 池上 知花

1寮前期寮長を務めさせて頂きました、4年材料工学科 池上知花です。

私は、コロナ禍に突入した2020年の夏、オンライン授業の期間を経て入寮しました。

感染対策のため、初めての寮は1人部屋。共有スペースは使用できず、寮食もパーティーションで仕切られた食堂でとる日々でした。そんな寮生活のスタートはかなり孤独に感じましたが、徐々に友達が増え、楽しく過ごせるようになりました。また、初めての共同生活にも苦労しました。当番で回ってくる掃除や週番などの仕事は大変だと感じることもありましたが、今思うと友達や先輩とコミュニケーションがとれる貴重な時間だったなと思います。

2年生になると後輩ができ、2人部屋を経験することになりました。感染拡大によって短期間とはなりましたが、後輩との生活は良くも悪くも緊張感を持った生活だったと思います。また、寮の決まりや掃除を後輩に教えるのも2年生の役目だったので、うまく伝えられるように努力していました。

3年生になると、寮役員の先輩の元で指導寮生として、寮の運営に携わることになりました。この頃、ICタグを用いた点呼に切り替わったのですが、寮役員の方々と共に点呼の実施形態について考えたり、寮内の様々な不満や要望に対応したりしました。また、コロナウイルスも落ち着き、寮祭が復活したのもこの年でした。私にとっては初めての寮での行事でしたが、各寮の垣根を越えて楽しむことが出来ました。

そしてこの春、寮役員となり、前期は寮長として1寮の運営に当たることになりました。4年生になって就いたこの役職は、様々な責任が問われるものでした。新型コロナウイルス感染症が5類になったため、寮内の感染対策を緩和しましたが、その後感染が広がってしまったり、IC点呼の信用性に問題が見つかり対面点呼に切り替えたこともありました。悩む場面も多々ありましたが、これまでの経験や色々な人の意見も取り入れて最善の選択が出来るように努力することが出来たと思います。

また、4年生の夏、他高専さんとの交流会にも参加することが出来ました。他高専の充実した話を聞くと、鈴鹿高専はまだただだなと思う事もありましたが、私たちの代では全て変えることは出来ませんでした。これから役員になる皆さんには、よく相談し、より良い寮にしていって欲しいなと思います。

皆さんの過ごす寮生活が、素敵なものになることを願っています。

「コロナ禍があげた寮生活」

1寮 後期寮長 西塚 暖乃

1寮後期寮長を務めさせていただきました、材料工学科4年西塚暖乃です。

私はコロナ禍で入学した学年なので、1人部屋での生活になったり寮食堂に仕切りが置かれてしまったりなど制限された寮生活を送ってきました。しかし、コロナ禍以前の生活にだんだん戻り、さらに楽しく寮生活を送っています。

1年前期はオンライン授業だったので、1年後期から寮生活がスタートしました。交流会などはなかったので寮内ですれ違う方が先輩なのか同級生なのか分からないまま過ごしていたことを覚えています。地元を離れた寮生活に不安でいっぱいでしたが、近くの部屋の先輩にサポートしていただき寮生活に慣れることができました。同級生とは、1年生で行うお風呂掃除などを通して仲良くなれました。私のクラスは寮生が少ないので、寮生活で他学科の同級生と仲良くなれたことが良かったと思っています。

4年生になり、後期寮長を務めることになりました。寮長を務めることはとても不安で、コロナ禍以前の生活に戻すにあたりルール変更など大変なことがたくさんありました。先生方と会議を定期的に行い、自分たちが中心となって寮を運営していくことの難しさを実感しました。昨年度からICでの点呼を行っていますが、信頼性が低いことが判明したためしばらく対面での点呼を行いました。寮生同士の交流が少ないことを先生にご指摘いただいたことや点呼の際に口頭で連絡ができることも理由としてありました。最終的には、掃除などをしなければならない低学年の方に負担が大きくなってしまいうことからIC点呼に戻しましたが、IC点呼の不具合が起こった場合の対面点呼の仕方を確立することができたので良かったと思っています。また私は参加することができませんでしたが、他高専の寮役員との交流会も今年度から行うことができました。運営の仕方や行事内容などについて、今後の寮生活の運営に活用していただけたらうれしいです。

最後になりましたが、先輩や先生方の力もお借りしながら寮役員・指導寮生で協力して1寮を運営することができたのではないかと感じています。本当にありがとうございました。この経験を今後に活かしていきたいです。これからも充実した寮生活を送ってまいります。



「5年間の寮生活」

2寮 寮長 牧原 旺雅

2寮寮長を務めさせていただいた牧原旺雅です。5年生になると寮で共に過ごしていた友人の多くが、自宅からの通学への切り替えや、諸事情などで次々と退寮していきました。後期、2寮は留学生含め15人程度とかなり少人数になってしまいました。寂しさも感じたりしましたが僕は5年間、充実した寮生活を過ごすことが出来ました。

それは、友人、両親、寮事務員さん、寮母さんなどたくさんの方のお陰だと思っています。本当に感謝の気持ちでいっぱいです。

ありがとうございました。

5年間の寮生活を振り返ると、

僕が1年生の頃、寮役員をされていた先輩方は頼りになる憧れの存在でした。学年が上がると、自分自身が寮役員をさせていただける事になりました。僕は後輩たちにとって手本にならないと考えると考え意識しながら行動する事を心掛けました。

そして今年度も引き続き寮長として寮運営に携わり、寮祭も実施する事が出来ました。令和5年5月に新型コロナウイルスが5類に移行され、それに伴い寮祭でも行える事の範囲も広がり昨年と少し形態も変えてより良い寮祭になっていたと思います。

制限されていたことが解除されつつある今、その変化にも柔軟に対応し寮運営を行っていくことが必要になっています。築いてきたものが受け継がれ、そしてそれが進化していくのを実感できました。

これからも後輩たちにはより良い寮になるようにみんなで作り上げていってほしいです。

5年生になった僕たちにとってこの1年は、編入勉強・就職活動・資格試験・二十歳の集い・卒業研究など、人生の大きな節目の年でした。

寮生活での経験は多くの場面で活かされたと感じます。それは今後の人生においても同じです。

寮生活は自分を成長させてくれるはずですが、後輩のみなさんも有意義な寮生活にしてください。

最後になりましたが、僕の寮生活が充実したものであった1番の理由は、友人たちがいたからです。

共に過ごした日々を忘れません。

楽しく素晴らしい5年間でした。本当にありがとうございました。

「今年のイベントを振り返って」

4寮 寮長 堂本 泰晴

こんにちは。去年に引き続き寮長を務めました堂本泰晴と申します。今年一年の寮生活を振り返ってみて、特に記憶に残っていることが3つあります。

一つ目は、後期から4寮で三人部屋に戻されたことです。ここ数年は新型コロナウイルス感染症対策により、学年に関係なく一人部屋が採用されていました。しかし、新型コロナウイルスの感染症法上の位置づけが2類から5類に下げられたことにより、寮生活上の規制が緩和されたため、複数人での部屋の利用が行われるようになりました。一人部屋を経験している方の中には、複数人での部屋の利用を苦と思っている方もいると思います。僕自身もどちらかという一人でいるのが好きで、他の人と一緒にいると相手のことを気遣わなければならない、疲れるのであまり好きではありません。しかし、社会人になったら、他の人と協力する場面も増えます。すなわち、より相手のことを考えて行動する時間が増えます。しかし、他の人のことを考えて行動することは一朝一夕で身に付く能力ではないと僕は思います。なので、失敗のできる学生生活の間にこの能力を身につけておいた方がいいと思います。今、複数人部屋が苦痛だと思っている方は、これは社会で生きていく練習であると思って、頑張っのりきってください。

二つ目は他高専の寮の視察です。今年は豊田高専と鳥羽商船の寮を視察しました。視察をして、鈴鹿高専の寮は行事が極端に少ないと気づきました。他高専では、年に少なくとも大きな行事が2つ以上あり、中には1か月ずつで行っているところもありました。行事は寮生間でのコミュニケーションをとる大切な場であると思うので、積極的に行事を増やしていく必要があると思いました。寮役員だけではアイデアに限界がある為、寮の行事としてやりたいことがあれば、どんどん提案していただけると助かります。ちなみに、有志でバーベキュー大会を行っているところもあります。

三つ目は去年に引き続き行われた寮祭です。今年の寮祭は去年とほぼ同じで球技大会と抽選会でした。しかし、僕は去年、ドッジボールの審判しかなかったですが、今年は様々な準備の手伝いし、とても楽しかったです。参加者もとても楽しそうだったので、寮祭を行って良かったと思いました。

今年度の寮長の任期もあと少しなので、精いっぱい取り組もうと思います。

「大きな一年」

A寮 寮長 谷水 樹

3年電気電子工学科の谷水樹です。今年度、前期はA寮、後期は4寮の寮長を務めさせていただきました。この一年は寮生にとって変化が多くあった一年でした。新型コロナウイルスが5月に5類感染症に移行され、それまで感染対策で制限されていた寮でのルールが緩和されて少しずつコロナ前の生活に戻ってきました。

まず、大きく変わった点は合同部屋での生活に戻ったことです。前期までA寮の1人部屋で生活していましたが、後期が始まると同時に4寮の3人部屋での生活になりました。3人部屋での生活は同部屋の先輩とのコミュニケーションが1人部屋での生活の時よりとることができ、これまでより他学年間でのつながりを築きやすくなりました。

また、居室間の行き来ができるようになったことも大きく変化した点です。行き来ができるようになったことで、門限を過ぎた後でも寮の中であれば友達の部屋に行って談笑したり、勉強でわからないところを教えあったりすることができます。これは通学生であれば体験できない楽しい時間であると思います。共有スペースである談話室に集まることもできるようになりました。ここには調理スペースがあるので、友達と料理を作って食べることができたり、テスト期間には、友達と集まって勉強をすることもできます。一人のほうが集中できるという人は部屋で、一人だと集中できないという人は誰かと集まってできるという選択肢があるところは寮のいいところだと思います。

個人的に変わってくれてうれしかったことは寮食堂に設置されていたパーテーションが撤去されたことです。撤去されたことで、会話の時間が増え、友達や部活の仲間たちと食べることが前より楽しくなりました。ごはんや汁物も自分で盛ることができるようになり、たくさん食べたい僕にとってはとてもうれしいです。しかし、友達との会話が盛り上がりすぎて長居しすぎてしまうことも多々あるのでそこは改善していきたいです。

今、この文章を読んでいる方の中には、寮に入ろうかどうかを悩んでいるのではないのでしょうか。自分から言えることは、寮生活をするだけでしか得られない貴重な体験ができるということです。ぜひ前向きに考えてみてください。

残り約2年間の寮生活をもっと楽しいものにできるように自分自身頑張っていきたいと思います。

最後まで読んでいただきありがとうございました。



**今年度の広報誌は以上になります
どうもありがとうございました！
また来年度も宜しくお願いします**



(2019年以降久し振りに全面再開された高専祭↑今年度は正門に大きな鳥居が出現！)